

新聞記者の仕事を学んだ

平野中で「出前授業」



新聞記者の仕事について学ぶ平野中の生徒たち

記事の見出しは約10文字で

西日本新聞

発行所

西日本新聞社

福岡市中央区天神一丁目
4番1号(〒810-8721)
©西日本新聞社

平野中学校
出前授業記念号1

2月27日(木)

こどもふれあい本部

TEL:092(711)5558

<http://kodomo.nishinippon.co.jp>

福岡県大野城市にある平野中学校（日下部達矢校長）で27日、社会人講話が行われ、新聞記者の仕事を1年生23人が学んだ。講師は西日本新聞社こどもふれあい本部の中野慧記者が務めた。まず、全員に配られた朝刊を使って、1面から順に読み方を説明。見出しには記事の内容が10字程度でまとめられていることや、こども向け紙面もあることを話した。

西日本新聞は、1877年に起きた西南戦争の戦況を人々に知らせるために発行された筑紫新聞が源流だ。現在は九州に約60総支局、米国や韓国などに駐在する記者が九州に関わるニュースを記事として発信している。中野記者は自身が新聞記者になった理由を話した後、1本の記事ができるまでの流れを説明。「記者やデスクなど何人もの人が内容をチェックして、正しい情報を伝える努力をしている」と語った。ネットニュースも多くの場合、新聞社の記者が書いていることも説明した。

男子生徒は「取材し、記事を書くことで大勢の人に伝えられる。すごい仕事だ」と話した。